

2022年度出力制御見通しについて

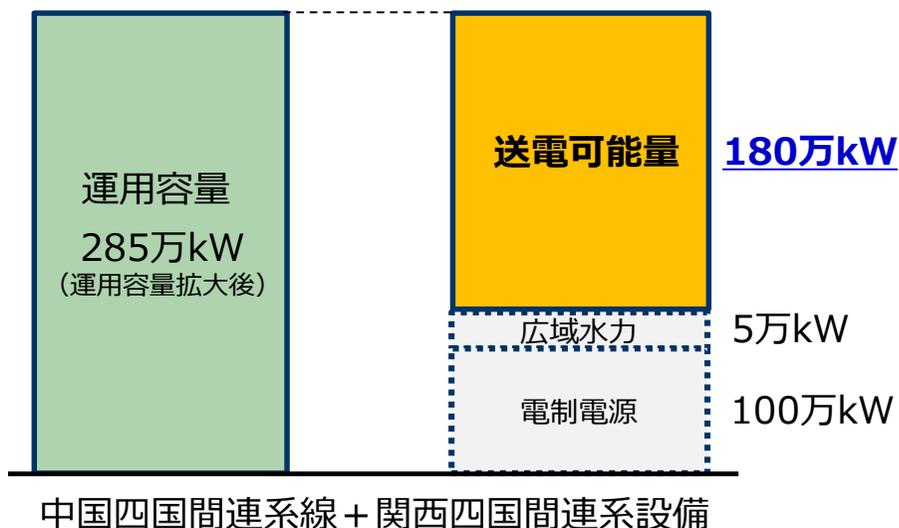
2022年 9月14日
四国電力送配電株式会社

1. 2022年度の再エネ出力制御見直しについて

シミュレーションの前提条件

- エリア需要、太陽光発電および風力発電は、2020年度実績データを使用
- 太陽光発電、風力発電の設備量は、2022年3月末設備量に至近の増加量や連系予定を考慮
- 火力は、エリア需給運用において必要最小限を織り込む
- 供給力は、2022年度補修計画を織り込む
- 連系線活用量は、送電可能量の50%として試算
(送電可能量の100%として試算した場合、出力制御は生じない)

【今回の試算における連系線活用のイメージ】



1. 2022年度の再エネ出力制御見通しについて

(2022年度出力制御見通し)

ケース	出力制御率（制御電力量）[太陽光・風力それぞれの出力制御率]					
	旧ルール		新ルール	無制限 無補償 ルール	制御対象 設備計	全設備※2
	オフライン	オンライン				
2022年度 見込み	1.02% (0.284億kWh) 〔太陽光：1.12%〕 〔風力：0.42%〕	0.24% (0.007億kWh) 〔太陽光：0.44%〕 〔風力：0.12%〕	0.40% (0.020億kWh) 〔太陽光：0.44%〕 〔風力：0.12%〕	0.44% (0.042億kWh) 〔太陽光：0.44%〕 〔風力：-※1〕	0.78% (0.353億kWh) 〔太陽光：0.86%〕 〔風力：0.31%〕	0.58% (0.312億kWh) 〔太陽光：0.61%〕 〔風力：0.31%〕
(参考) 2022年度 エリア全体 オンライン化	0.28% (0.077億kWh) 〔太陽光：0.33%〕 〔風力：0.07%〕		0.30% (0.014億kWh) 〔太陽光：0.33%〕 〔風力：0.07%〕	0.33% (0.029億kWh) 〔太陽光：0.33%〕 〔風力：-※1〕	0.29% (0.120億kWh) 〔太陽光：0.33%〕 〔風力：0.07%〕	0.24% (0.120億kWh) 〔太陽光：0.27%〕 〔風力：0.07%〕

※1 対象設備なし

※2 出力制御対象外設備を含む総発電量に対する実際の制御量の割合

(2022年度出力制御見通し（全設備）の内訳)

	実績	見通し	
	4～6月	7～3月	年度合計
全設備	1.03% (0.143億kWh) 〔太陽光：1.07%〕 〔風力：0.52%〕	0.48% (0.170億kWh) 〔太陽光：0.44%〕 〔風力：0.27%〕	0.58% (0.312億kWh) 〔太陽光：0.61%〕 〔風力：0.31%〕

2. 電源（太陽光、風力）のオンライン化

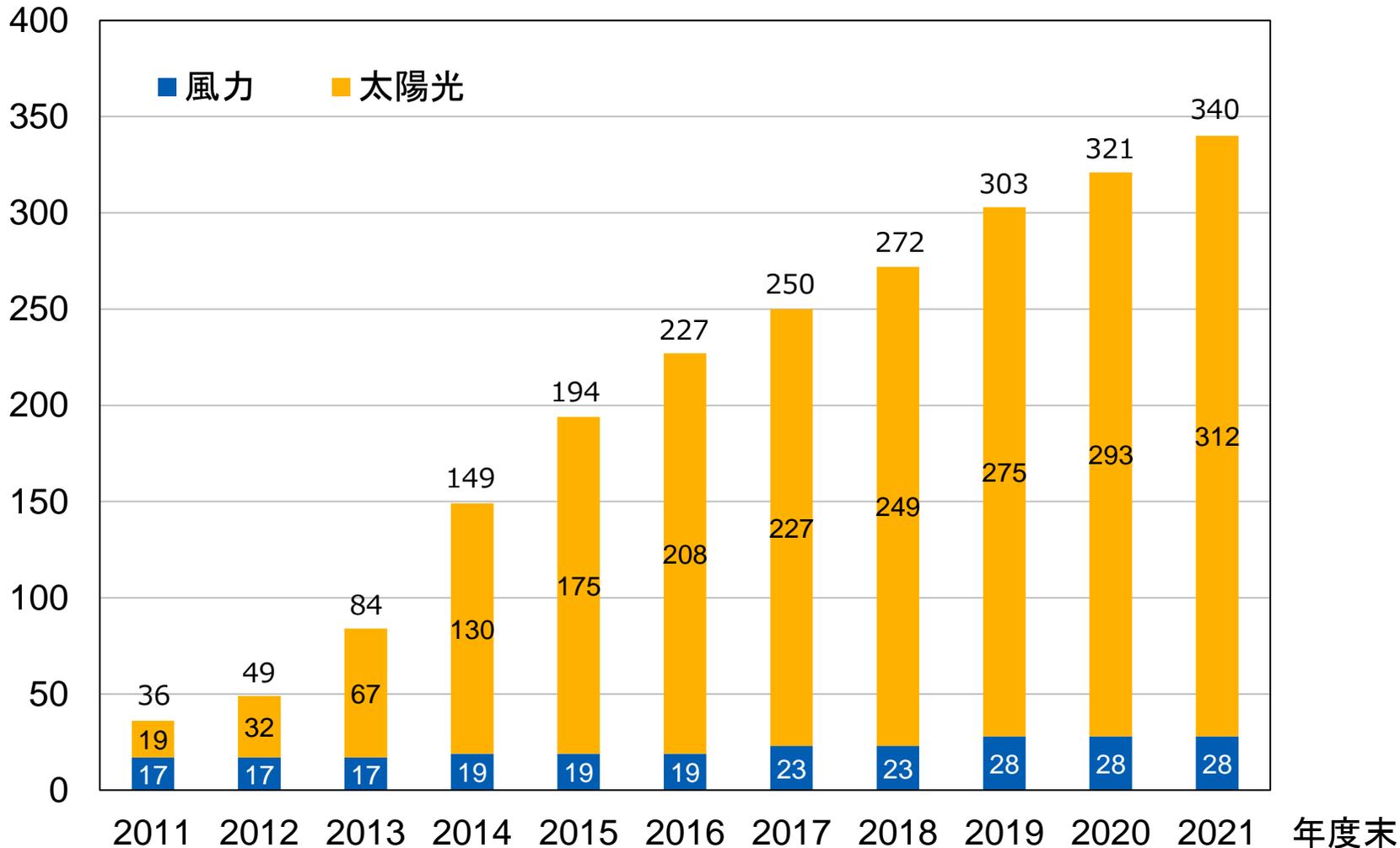
- 旧ルール事業者のオンライン化を促進するため、今春の出力制御実績を踏まえたオンライン化推奨に関する資料を当社HPで公表するとともに、当該資料をメールにて事業者へお知らせするなど、オンライン化のメリットをお伝えする取組を継続的に実施している。

（オンライン化の状況）

		2022年3月末	(参考) 2021年7月末
太陽光	①オンライン化率 ((②+④)/(②+③+④))	59.7%	57.9%
	②新ルール・無制限無補償ルール、オンライン事業者	94万kW	89万kW
	③旧ルール、オフライン事業者	71万kW	72万kW
	④オンライン制御可能な旧ルール事業者	11万kW (予定含む)	10万kW (予定)
	⑤旧ルール事業者のオンライン切替率 (④/(③+④))	13.4%	12.2%
風力	⑥オンライン化率 ((⑦+⑨)/(⑦+⑧+⑨))	28.6%	28.6%
	⑦新ルール・無制限無補償ルール、オンライン事業者	—	—
	⑧旧ルール、オフライン事業者	20万kW	20万kW
	⑨オンライン制御可能な旧ルール事業者	8万kW	8万kW
	⑩旧ルール事業者のオンライン切替率 (⑨/(⑧+⑨))	28.6%	28.6%

※ 「旧ルール高圧500kW以上・特別高圧の事業者。新ルール・無制限無補償ルール事業者（太陽光は、10kW以上）」について算定。

万kW



余剰買取制度

RPS制度

FIT制度

・ 淡路島南部地域の再エネを含む